

茅ヶ崎セントラルクリニック

吉時 裕次(看護師 / 看護部 / 主任)

功 績 今年度より主任として就任後、院内の課題、目標毎にチーム制を設け、個々の職員に対して役割を付与し、看護部のガバナンスを確立させるとともに、看護師が働く上でのモチベーションを高める工夫をした功績

推 薦 者 若林陽盛(事務長)

推 薦 理 由 自らの役割を模索し、組織の目標に合わせたチーム編成を行いながら、組織体をモチベートしている様は、これからのリーダー像として模範的であり、結果をきちんと伴っていることから理事長賞に相応しいと考え推薦させていただきます。

内 容

吉時は入職5年目の看護師です。ももとは治験施設の支援機関でセントラルクリニックと関りがあり、5年前に入職してきました。これまでセントラルクリニックの治験に関わる部分を一手に担い、頑張ってきましたが、昨年度より透析の治験がまったくなくなってしまいました。治験という部分を自らのアイデンティティとしてきた吉時でしたが、状況を悲観することなく、看護部内における様々な課題や目標を、少人数でいかにクリアしていくか、という箇所に着目し、自らを鼓舞していきます。

今年度より役職が付与され、まず最初に取り掛かったのは、看護師、看護助手全ての職員との個別ミーティングでした。その中で職員個々の「活躍したい」「セントラルの役に立ちたい」という想いを感じた吉時は、それぞれが得意としている分野を把握したうえで、課題別目標別にチームを編成しました。チームは①エコー②看護計画③患者指導の3つに分かれ、それぞれに目標を設定し、定期的な会議体を発足させ、自らファシリテーションを実施し取りまとめています。

結果、シャントエコーは予定よりも1か月早く実施、算定することができた他、セントラルクリニックではこれまで作成されてこなかった看護計画を作ることが出来ました。